

「としま太鼓道場」ただいま練習中

～ 「第 25 回 民俗芸能 in としま」への出演に向けて ～

昨日、豊島公会堂（東池袋 1-19-1）において『民俗芸能 in としま』参加ワークショップ「としま太鼓道場」が行なわれ、小学 4 年生から 74 歳までの約 20 名が、「秩父屋台囃子」を本番さながらの様子で勇ましく演奏、熱心に稽古に励んだ。

「秩父屋台囃子」は豊島区の姉妹都市・秩父市に 350 年近く伝わるお囃子。毎年 12 月 2、3 日に行なわれる秩父夜祭りにおいて、街中を曳きまわされる山車の下層部で演奏される。この山車は 20 トンもあり、お囃子は力強さとリズムカルなタッチで大波小波の打ち寄せる様を表現し、これにより曳き手の呼吸を揃え、力づける大切な役目を担っている。

この「としま太鼓道場」は、「秩父屋台囃子」を習得し、10 月 19 日（土曜日）に開催される「第 25 回 民俗芸能 in としま」（於：豊島公会堂）の舞台上で演奏することを目指すワークショップ。今年で 6 年目を迎える人気のワークショップで、参加者の中には、太鼓の演奏に魅了されたリピーターも多い。全 4 回の練習で「秩父屋台囃子」の太鼓のリズムを習得するため、秩父社中家元/二代目高野右吉氏による楽譜や音符を使わない、口伝えの厳しい指導となっている。今年は秩父市と豊島区が姉妹都市提携をして 30 周年という記念の年であるとともに、「民俗芸能 in としま」も 25 回目という節目で、参加者の練習にも一層熱が入っている。手の豆をつぶしながらの約 2 時間の猛練習は、あと 10 日（木曜日）と 16 日（水曜日）に行なわれ、その成果が公演で披露される。

当日参加者は、本番のステージとなる豊島公会堂で、二代目高野右吉氏指導のもと稽古に励んだ。勇ましい太鼓の音と高野氏の指導の声が公会堂に響く。「ドコンドコドン」と言いながら熱心に太鼓を叩く表情は真剣そのもの。1 曲の囃子の中で「大波」や「小波」、「さざなみ」などを表現する。高野氏は、「1 曲 40 秒くらいのリズムを何度も口で歌い、その通りに太鼓を叩きます。口で歌えなければ叩けません。」と話した。また、今回が初参加となる小学 4 年生の女子児童は、「リズムを覚えるのが難しいです。カッコ良く叩けるようになりたいです。」と、4 回目となる中学 1 年生の男子生徒は、「練習する度に上手に叩けるようになり、楽しいです。（本番は）みんなで成功させたいです。」と意気込みを語った。

日 時	平成 25 年 10 月 2 日（水曜日）午後 6 時から 8 時まで
場 所	豊島公会堂（東池袋 1-19-1）
主 催	公益財団法人 としま未来文化財団
背 景 補 足 事 項	*二代目高野右吉氏：初代高野右吉の三男として生まれ、幼い頃から秩父屋台囃子の稽古に打ち込む。秩父地域を巡りながら貴重な文化遺産の継承活動に努めるかたわら、30 年間ボランティアで後継者を育成している。 *第 25 回 民俗芸能 in としま（10 月 19 日（土曜日）午後 2 時開演）：後継者難などから存続の危機にあった区の民俗芸能の継承と紹介を目的に平成元年から開催。「秩父屋台囃子」は長崎獅子舞とともに毎年参加している。

手本を見せる二代目高野右吉氏



練習の様子



熱心に練習する参加者たち



『民俗芸能inとしま』参加ワークショップ
『としま太鼓道場』ただいま練習中！
 ～秩父市との姉妹都市提携30周年も記念して～

10月19日（土）に開催される『第25回 民俗芸能inとしま』（於：豊島公会堂）への出演に向けて「としま太鼓道場」ワークショップに参加している小学生4年～74歳（小中学生8名、大人11名、内リピーター9名）の約20人が練習を重ねています。

「としま太鼓道場」は、公益財団法人としま未来文化財団が平成20年（2008年）から主催するワークショップで、今年で6回目となります。当初は「民俗芸能inとしま」の20回記念として区民参加の「太鼓ワークショップ」という名前で開催していました。全4回の練習で「秩父屋台囃子」の太鼓のリズムを習得するため、秩父社中家元／二代目高野右吉先生による楽譜や音符を使わない、先生の口伝えの厳しい指導となっています。手の豆をつぶしながらの毎回約2時間の猛練習の成果を公演で披露するので、途中から「としま太鼓道場」と名前を改めました。

今年は秩父市と豊島区が姉妹都市提携をして30周年という記念の年であるとともに、「民俗芸能inとしま」も25回目という節目で、参加者の練習にも一層熱が入ります。

『民俗芸能inとしま』は、豊島区に残る民俗芸能の一つである「長崎獅子舞」の維持、伝承を主な目的として始まり、「富士元囃子・寿獅子」とともに豊島区無形民俗文化財として毎年出演しています。さらに豊島区の友好・交流都市から、毎年バラエティー溢れるすばらしい伝統芸能を迎えて開催しています。今年は、秩父市との姉妹都市提携30周年とのことで、初回から参加している「秩父屋台囃子」の他、「秩父神社神楽」も記念として招聘しています。

※練習風景をホームページに掲載しています。（現在未掲載）

☛ <http://www.toshima-mirai.jp/course/>

公演概要

- 【タイトル】 『第25回 民俗芸能inとしま』
 ～秩父市姉妹都市提携30周年記念・名張市文化交流都市協定締結10周年記念～
- 【日時】 平成25年10月19日（土）開演：午後2時（開場午後1時20分）
- 【場所】 豊島公会堂（豊島区東池袋1-19-1）
- 【申込】 としまみらいチケットセンター ☎03-3590-5321
- 【出演】 ○秩父神社神楽（埼玉県秩父市） ○秩父屋台囃子（埼玉県秩父市）
 ○名張子ども狂言（三重県名張市） ○としま子ども狂言教室（豊島区）
 ○長崎獅子舞（豊島区） ○富士元囃子・寿獅子（豊島区）
- 【主催】 公益財団法人としま未来文化財団／豊島区／としま区日本舞踊家集団
- 【公演・ワークショップ内容問合せ先】 公益財団法人としま未来文化財団
 プランセクション